



キリスト者共同体東京集会 2017年受難節・復活祭 ご案内

受難節

4月1日(土)～2日(日) 共同体日本地域代表 マンダイカ司祭を迎える週末の集い

世界と日本のキリスト者共同体

今、世界の現実はとても困難です。戦争や経済的な格差、難民流出や受け入れの問題、子どもの虐待など、キリスト者共同体も世界の国々の現場で直面しています。日本も含めて共同体の果たすべき役割は何なのでしょう？日本地域代表であるのみならず、世界のキリスト者共同体の代表のひとりでもあるマンダイカさんと話し合いを深めたいと思います。

日程

1日(土)	2日(日)
10:30 人間聖化式(日本語) 11:45 歓迎会 13:00 講演と話し合い 「世界の困難とキリスト者共同体」 A.マンダイカ	10:30 人間聖化式(英語) 11:45 導入「世界の中の日本のキリスト者共同体」 興石祥三 昼食休憩 13:00 話し合い マンダイカ氏とともに 「キリスト者共同体ー世界におけるその課題」



4月9日(棕櫚の日曜日) 聖化式後

11:45 日曜子供礼拝式

12:15 **種まき祭り** (四歳から。要申込。)

14:00～16:00 第二回 日本の集い(仮称)

参加者で日本をテーマとしていく集いです。まだはじまったばかりです。ぜひどなたもご参加ください。集いの最後は礼拝でしめくります。(エマオス2月号東国通信欄参照。)

聖受難週 4月10日(聖月曜日)～4月15日(聖土曜日) 10:30 人間聖化式
礼拝後 11:45より **復活への道 ～福音とともに聖受難週の出来事をたどる**

10日(聖月曜日)「無花果はなぜ枯れたのか」

13日(聖木曜日)「最後の晩餐」

11日(聖火曜日)「オリブ山の黙示録」

14日(聖金曜日)「ゴルゴタへ」

12日(聖水曜日)「沈黙の水曜日」

4月14日(聖金曜日)15:00より **十字架の死の時間の礼拝式**

説教「十字架に咲く花」 興石 麗

ご注意 15日礼拝後は「キリスト教を学ぶ会」、マタイ福音書第2章を読みます。

復活祭

4月16日（復活の日曜日）

10:30 復活祭の人間聖化式

11:45 日曜子供礼拝式

12:20 **復活祭の卵祭り**（四歳から。要申込。）

（子どものお祭りチラシの必要な方はご請求ください。）



4月22日（土）15:00 堅生式導入講演

青年時代を導く内的力 ～堅生式について 興石祥三

4月23日（日）9:30 日曜子供礼拝式

10:30 2017年度堅生式（要予約。堅生式関係者優先のため立ち見の場合もあります。）

12:15 祝賀会（要予約）4月29日（土）13:00

4月29日（土）13時より **レデンティン復活祭劇 朗読版上演**

中世ドイツで誕生したキリスト復活劇の傑作レデンティン復活祭劇、十字架上の死の後、蘇ったキリストが冥府に下り、悪魔に捕えられていた人々を救済するという、現代人の心にも訴える真剣なテーマを、歌あり活劇あり、時には笑いありの三幕物で楽しく体験できます。「復活ということがやっとわかった」、という声も聞かれます。

皆様とともに楽しみながら過ごせればと願っております。どうぞお誘いあわせの上ご来場いただけますと、誠に幸いです。子どもは小学校上級生から観劇できます。



5月3日(水)～5月5日(金) 連休講座

新しい^{いのち}生命への道 —キリスト者共同体信条文（クレド）講座 その一

生命^{いのち}は物質の崩壊とともにいつかは消え去るはかないものではなく、そこには永遠に通じる確かなものも隠されています。その隠された現実を見出すことは生きる力になります。キリスト者共同体の儀式で読まれる「信条文」は短い言葉ですが、そこには、この「新しい生命」に目を開くための確かな出発点と示唆が込められているのです。この秘められた内容を生き生きと感じてみませんか？ 初めての方も大歓迎です。

	5月3日（水）	5月4日（木）	5月5日（金）
10:30	人間聖化式	人間聖化式	人間聖化式
11:45 - 13:00	講座1 導入	講座3 子なる神キリスト	講座5 神の受難と死
	昼休み	昼休み	昼休み
14:00	音楽の時間	音楽の時間	音楽の時間
14:15 - 15:30	講座2 父なる神	講座4 キリストの受肉	講座6 キリストの復活

5月14日（日）13:00- 14:30

夏のデーブス講座「パルジファル」準備Ⅱ 興石麗

以上の催しは久が原集会所で行われます。入場無料、会場にて自由なご寄付をお願いします。

キリ

